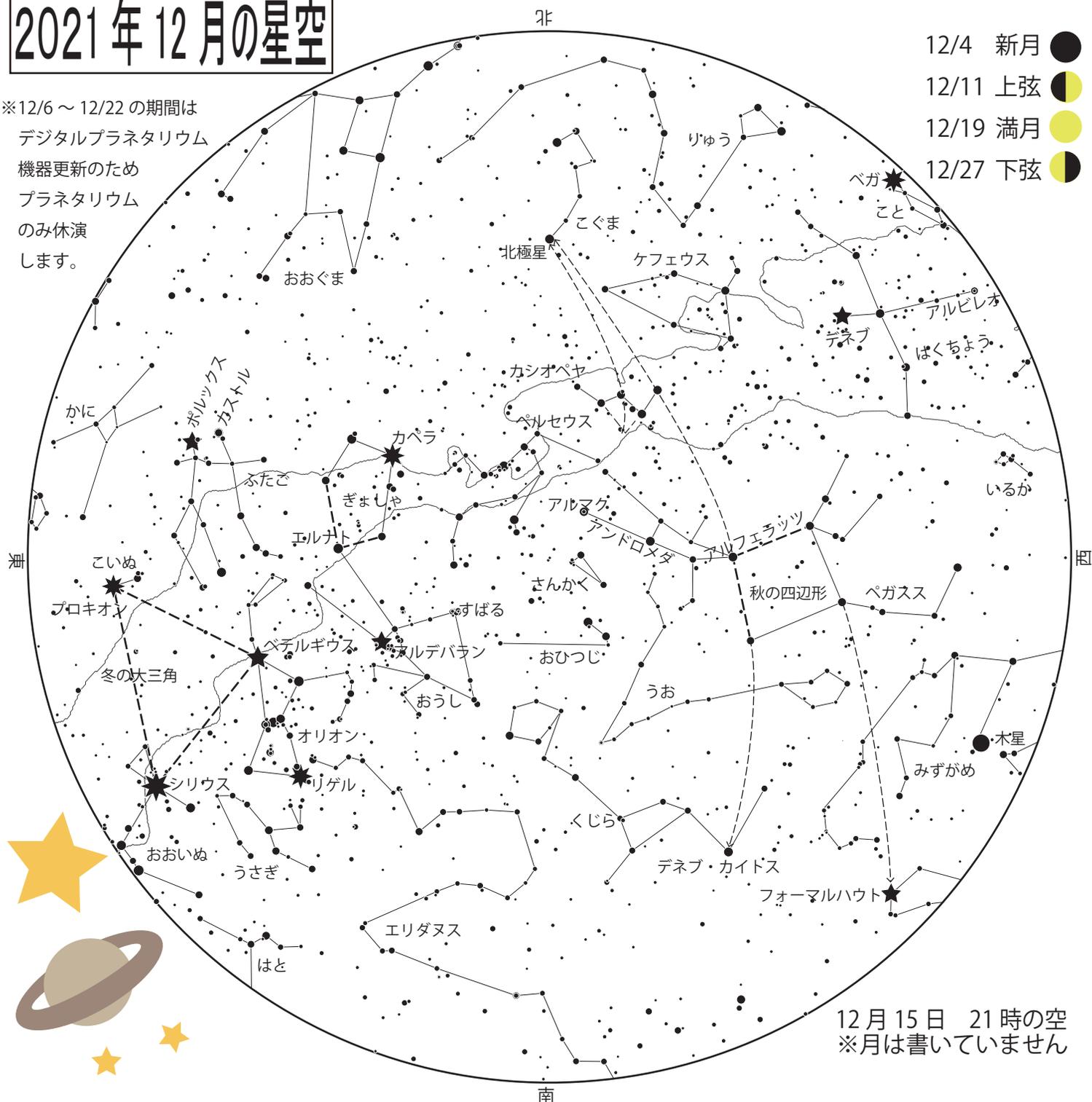


姫路で見る 2021年12月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

※12/6～12/22の期間は
デジタルプラネタリウム
機器更新のため
プラネタリウム
のみ休演
します。

- 12/4 新月 ●
- 12/11 上弦 ●◐
- 12/19 満月 ●
- 12/27 下弦 ◑●



12月15日 21時の空
※月は書いていません

12月は秋の星座と冬の星座の両方を楽しむことができる時期です。

西の空には静かで落ち着いた印象の秋の星座が見えます。ペガサス座の胴体部分にあたるのが、秋の夜空の案内板「秋の四辺形」です。「秋の四辺形」からカシオペヤ座やアンドロメダ座を探してみましょう。

西の空とは対照的に、東の空には明るい星が多くてにぎやかな印象の冬の星座が見えます。南東で結んだリボンのように見えるのがオリオン座です。2つの1等星、オレンジ色のベテルギウスと青白いリゲルが目立ちます。オリオン座の三つ星を東にのばしていくと、全天でいちばん明るい1等星、おおいぬ座のシリウスが見つかります。その左側にあるのがこいぬ座の1等星プロキオンです。3つの1等星、ベテルギウス、シリウス、プロキオンを結んでできるのが、冬の夜空の目印「冬の大三角」です。

木星が南西の空に見えます。木星は12月中旬から1月中旬にかけてみずがめ座を移動中です。晴れた日は、あたたかい服装できらびやかな冬の星空を眺めてみましょう。